

提案名	緊急新型コロナウイルス感染対策 核酸分解可能な革新的ウイルス除染システム		業界初! 世界初! 革新的除染技術	
企業名	株式会社シーライブ		住所	〒792-0060 愛媛県新居浜市大生院 2151-10
			U R L	http://www.sealive.co.jp/
連絡先	部署	ライフサイエンス事業部	T E L	0897-66-1085
	担当者	鈴木 康司	E-mail	suzuki@sealive.co.jp
会社概要	設立	平成7年2月	代表者	鈴木 康司
	資本金	20,000千円	従業員	4名
	事業内容	電子回路基板、システムの開発、製造、販売		
提案内容	【適用可能分野】 新型コロナウイルス感染対策 【開発レベル】 <input type="checkbox"/> アイデア段階 <input checked="" type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input type="checkbox"/> 製品化段階 【特許の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
【概要】				
<p>新型コロナウイルス汚染エリアの感染対策と再使用のため公共施設・商業施設・生産現場等は短期間のウイルス除染を求めている。気相の核酸分解技術による SARS-CoV-2 対応の短時間ウイルス除染と二次感染防止を同時に実現する簡便なウイルス除染システムを製品化中</p> <p><社会実装へ向けてウイルス除染ニーズを有する顧客を探索している></p>				
【想定利用シーン】				
・無人状態で24時間程度除染を行い感染性ウイルスの二次感染防止を実現				
【ターゲット市場】				
・新型コロナウイルス対策市場、危機管理分野、畜産分野を先行して実用化する ①感染者搬送車両 ②展示会場 ③公共施設 ④安全性必要な生産現場 ⑤船舶 ⑥商業施設 ⑦感染者が滞在した部屋 ⑧ウイルス感染時の畜産施設 ⑨感染者隔離ホテル ⑩劇場・映画館 等を運営する危機管理者がターゲット				
【製品特徴と展望】				
・従来法(ホルムアルデヒド燻蒸)の1/10以下低濃度運用可能で燻蒸後残留析出なく養生と清拭不要 ・気相式の核酸分解可能な滅菌システムとしてバイオハザード対策分野へ将来展開を探る				
【技術新規性】				
・核酸分解99.99%以上のDNAフリーを気相で短時間達成可能な核酸分解システム ・2017年10月の第18回世界滅菌会議(ドイツ・ボン)ポスターアワード第1位受賞 ・日本医療研究開発機構(AMED)令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業」採択 ・世界特許8カ国取得済 ・新規特許出願中				
【コスト優位性】				
・抗菌スペクトルの拡張と滅菌スケールメリットを有しランニングコストEOGの1/10を実現				
希望提携内容	市場ニーズ調査「開発済みの気相滅菌システムをベースに試作中 定期的なウイルス除染が必要な顧客のニーズ調査希望 ターゲット市場の危機管理者と連携希望」			
キーワード	新型コロナウイルス対策、SARS-CoV-2、滅菌、殺菌、消毒、除染、核酸分解、DNA、RNA、蛋白質、バリデーション、介護、製薬、創薬、ウイルスクリアランス、バイオハザード			